

ドラフトスタビライザー

取り扱い説明書

Dinak SW6専用

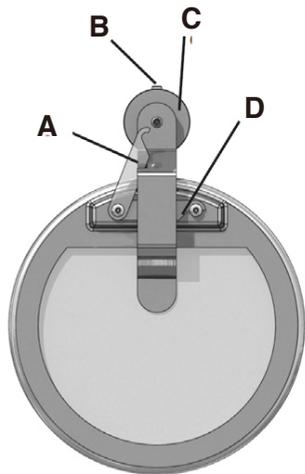


図 1

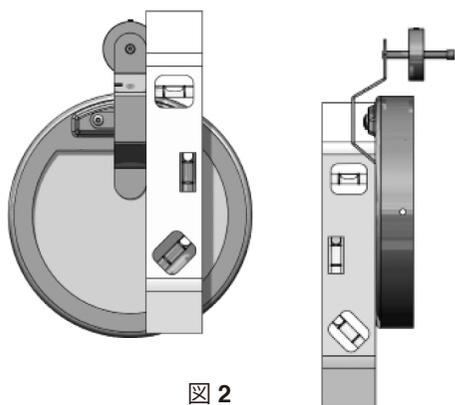


図 2

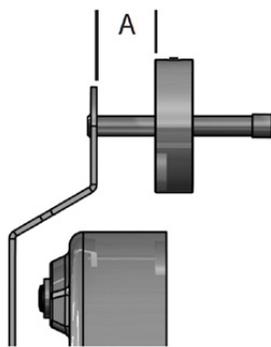


図 3

- ・ドラフトスタビライザーは適切なドラフトの維持と、煙突内の凝結リスクの軽減を目的とした製品です。
- ・施工者及び設備や物件の所有者は、想定したドラフトが得られているかどうかを確認してください。
- ・ドラフトスタビライザーは焚付けの際に煙が漏れ出ることがないように、密閉されるように設計されています。
- ・シングルT字煙突に接続して使用します。

設置方法

- ・図2のように、水平器を当てながら正面・側面ともに水平・垂直となるようにT字煙突に取り付けます。
- ・固定クランプ(図1のA)を外し、Dの位置へ固定した状態で、ドラフトスタビライザーの弁が自由に開閉することを確認します。
- ・負圧に対する弁の開閉度合いは、分銅(図1のC)の位置をずらし、先端からの距離(図3のA)を変えることで調整できます。分銅を動かす時は上部のネジ(図1のB)を2.5mmの六角レンチを使って緩め、固定する時は同様にネジを締めてください。
- ・表4に、燃烧機器ごとに設定されている最適なドラフト値P(Pa)に対応する距離A(mm)を示しています。(最適ドラフト値が15Paの際は、分銅の位置は先端から5mmの位置に固定します。)ただし、表4の数値は理論値のため、厳密な実測値を求める場合はドラフト測定器などを用いてご確認いただくことを推奨いたします。
- ・工場出荷時の設定は15Paです。

機能

ドラフトスタビライザーの開閉具合は上記の設定と煙突内のドラフトの状態によって変化します。そしてドラフト自体も、煙突の設置の仕方や天気、燃烧の状態、また使用される燃烧機器によって変わるため、設定したいドラフト値や、それに伴う換気の必要性については、使用現場での状況ごとに判断してください。

